WILL（ウィル）とは、『意志』という意味です。強い「意志」を持って
未来へと繋（つな）がる 新しい町づくりに取り組みます。

WILL

小亀重喜氏を支援する会からのお便り

小亀しげき後援会だより“ウィル”平成19年（2007年）夏号

支援する会 事務所/住所:〒766-0023 まんのう町吉野3410 TEL:0877-79-2779
ホームページ（kamechanのブログ）… http://ameblo.jp/blog-kamechan/

二年目も精力的に活動中！

皆様のご支援を背に、**小亀しげき**、議員一年目を全うすることが出来ましたこと、深く感謝申し上げます。引き続き、本年度も頑張っております。

平素より**小亀しげき**に対しご支援、ご厚情を賜り、有難うございます。後援会一同、深く御礼申し上げます。

さて、振り返れば早いもので、激動の中、平成一八年度合併初年度は瞬く間に過ぎ去ってしまいました。昨年度は、ともかくも「船出」することが命題とされた一年間と云えるやもしれません。町長の年初の施政方針にも示されたように、本年度こそ新町の骨格が見え始める年：旧三町の歴史や特性を踏まえながら、融合を図り、将来に向けた「町発展のための基盤づくり」こそ、現時点でのまんのう町の大きなテーマだと思われます。しかし国が進める改革による、地方交付税・特別交付金等の削減は、予想以上に町財政に影響を与え、自治体経営の変革が強く迫られています。今後、町政のチェック機能を果すべき議会の役割はますます重要となってきます。

新人議員**小亀しげき**も、真価が問われる二年目を迎え気を引き締め、昨年以上に精力的に活動しております。

今後とも相変わらぬご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。また併せまして、皆様方の益々のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。（後援会一同）

この後援会だよりについての
ご感想や**小亀しげき**へのご意見・ご要望
をお聞かせ下さい。下の葉書を切り取って
お使い下さい。（切手は不要です）

議会も改革を！

皆さん、小亀重喜です。

日頃のご支援、本当に有難うございます。冒頭からではございますが…「議会はいったいナニしょんな？」…哀しいかな、町内でそんな声を多く耳にします。一年生議員としての昨年、定例会ごとに毎回一般質問に立ち、所管はもちろん他（私自身が属している教育民生常任委員会以外）の常任委員会も出来る限り傍聴し、ホームページ（ブログ）を通じて速やかに議事や審議結果の報告、そしてこの後援会便りの発行など、ホンネを申し上げれば「（議会）情報を積極的に発信しているギイン」という自負を抱いておりました。そして皆さんにとって議会というモノを少しは身近に感じて頂けるようになったのでは…と思っておりました。

しかし、議会全体としては依然として昔ながらのスタイル、なかなか変わりません。町民の皆さんの「議会が見えない」という言葉は率直なご意見、ごもっともなご指摘だと感じております。逼迫した財政状況の中、町行政（役場）の各業務を見直し効率的な運営へと改善していくため、行政改革は喫緊の課題とされておりますが、改革が必要なのは議会も同じだと考えます。

それでは何から変えていくべきか？ 本来は、もっぱら町長（執行部）から提出された議案の審議という「受身」の状況を打破し、積極的な政策提案を行える議会へと高めることが求められるわけですが、残念ながら一挙にそこまでは辿り着けそうにありません。まずは、議会というモノを町民の皆さんに伝えること、そして皆さん方からの意見に真摯に耳を傾けることから始めなければならないと思います。選挙時はさておき、議員各人、同じまんのう町議会という組織を構成するに至ったからには、個々の議員活動だけでなく議会全体として住民に向き合っていかなければならないはずです。

情報発信にこだわり続け、「開かれた議会」、「機能する議会」そして「進化する議会」を目指し、これからも頑張ります。何卒宜しくお願い申し上げます。

（小亀重喜 記）

切り取り線

料金受取人払
琴平局承認
12
差出有効期限
平成20年6月
30日まで。
（切手不要）

郵便はがき

7 6 6 - 8 7 9 0

（受取人）
香川県仲多度郡
まんのう町吉野3410番地

小亀重喜氏を支援する会
後援会事務所 行

※お手数ですがご記入下さい。

ご住所 〒			
お名前 男・女			
TEL		FAX	
E-mail	@		

切り取り線